

○議長（河野） 8番、十河茂広君。

○8番（十河） はい、議長。8番、十河です。

○議長（河野） 十河君。

○8番（十河） はい、議長。

○8番（十河） 議長に発言のお許しが出ましたので、通告に従いまして、一般質問をさせていただきます。公明党の十河です。よろしくお願いいたします。

先ほど、昼休憩のときに、報道番組見ていると北海道、青森でまた地震があったそうでございます。震度4の地震で、津波も発生したらしくて、東北の方、寒い中大変だな、ご苦労様やなあという思いを、また一段と強くしたところでございます。本当にいつ、どんなことが起こるかわからないのが、今、日本の状況でございますので、しっかりと気を引き締めて、災害には向かっていかなければならないなというふうに思っております。

また、本定例会におきましても、先ほど同僚議員の方から防災関係の質問等がございましたが、だぶる部分もあるかと思いますが、何卒ご答弁の方、よろしくお願いいたします。

まず、町内行政におきましては、この夏、町長、副町長をはじめ担当課長、職員全員が防災士の資格を習得するために勉強会、また試験に臨み、個人の防災に対する知識向上、災害時に行うべき行動のレベルアップに努めたと聞いております。大変にご苦労様でございました。今回の取組によって公助はもとより、自助・共助への取組指導も、町内各所に向けて強化できるのかと思っております。

最近の県の調査ではございますが、綾川町で南海トラフ巨大地震が起これば、綾川町におきましては避難者が約490名、建物倒壊が約200棟が試算されると新聞発表でございました。行政の役割としましては、住民の生命と財産を守るとあります。この数字をいかに減らしていくのか、以下、5問の質問をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

1、現在は、各課におきまして、様々な災害時における情報を収集しデータ化しているかと思いますが、事前防災や災害発生時の初動対応から復旧、また復興までをワンストップ化して担う体制を作っていく一元化体制を構築することが必要ではないかと思っておりますが、見解をお聞かせ下さい。例としましては、要支援者、援護者、連絡先が定かでない方、また、障がい等を持っている方、空き家の所有者が分かってない方、自治会に入っていない方等、様々あるかと思いますが、その方に対する見解をお聞かせください。

2、住民参加の避難訓練や炊き出し、講演会、広報紙等発行に参加できない、しない住民の方への声掛けは。地域防災組織の連携など、どのように今まで以上に強化するように考えているのかお聞かせください。

3、災害発生時に迅速かつ円滑に本部を設置し、情報収集、集約、各関係機関への対策のリーダーシップを取る。基本は町長が頭になり、中心になり行うとは思いますが、

新しい防災体制、皆さんが防災士の資格を取った以上、様々なリーダーシップをとることも可能ではあると思いますので、新しい防災体制の考えはあるのでしょうか。お聞かせ願います。

4、専門の対策課を立ち上げるとしたら目的、業務範囲、人員配置など決定しなければなりません、イメージとして持っていらっしゃるのか。また、全く今は考えていないのか、お聞かせお願いをいたします。

5、議会との連携でございます。現在、現職議員の中に5名の防災士が在籍しております。しっかり議会の防災士の方と行政との連携を、しっかり取りながら、様々な準備をしていくことも必要じゃないかなというふうに考えておりますので、またそのあたりの見解をお聞かせください。

最後になりますが、住宅耐震化の診断、改修の補助金の見直し等、家具の転倒防止対策器具の取り付けを県防災士と連携を取り、高齢者、要支援者より要求があれば速やかに対策を取ってあげられる。後は、個人の備蓄品の備え、ローリングストック等言われておる所ではありますが、今まで以上にローリングストック、個人の備蓄、大事なことだと思いますが、折々にしっかり広報することが大事かというふう思います。

災害を最小限に抑えるには、平時が大事でございます。しっかりと、平時のときに、何もないときこそ、皆さんに危機感を持っていただきながら考えていただく、地域でも考えていただくことが大事かと思っておりますので、以上5点ご答弁お願いをいたします。

以上でございます。

○議長（河野） 前田町長。

○町長（前田） はい、議長。

○議長（河野） 町長。

○町長（前田） はい、議長。

○町長（前田） ご質問にお答えいたします。

1点目の「事前防災や災害発生時の初動対応から復旧、復興までをワンストップ化して担う体制を作っていく一元化体制の構築」についてありますが、本町、綾川町では、職員の防災士資格の取得100%を目指しております。今年度におきましては、8月に53名が防災士の資格を取得しました。令和8年3月には50名の取得、さらに、令和8年度においても70名の取得を目指しているところであります。

防災士の資格取得により、町職員1人1人が、町の災害対策や避難所運営などの防災活動の基礎基盤の構築を図るとともに、地域の防災力を高めるための活動など、専門的知識や技能をもって災害に当たることが期待されるところであります。

また、町の地域内に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合につきましては、災害応急対策を行うため、災害対策本部を設置し、災害対応を行うこととなっております。定められた災害時の動員体制に基づき、防災士の資格取得により得た知識を活かし、各課が連携して災害対応に当たってまいりますので、職員が共通理解のもと、災害

発生時の初動対応から復旧、復興までを行ってまいります。よって、綾川町の災害対策は、統制の効いたワンストップ化の対応が取れると考えております。

2点目の「住民参加の避難訓練や炊き出し、講演会、広報紙等発行に参加できない住民の方への声掛け対象者は」についてであります。防災訓練への参加を促す取組につきましては、住民一人ひとりが防災を自分のこととして感じられる形にすることが不可欠であると認識しております。

防災訓練への参加率の向上のために、住民の関心と共感を高める情報発信を行ってまいります。そのために防災訓練の周知の際には、自分と家族の安全に直結する災害時に役立つ訓練内容を盛り込んだ、分かりやすい啓発資料を作成し、町広報紙、町公式サイト、SNSなど、あらゆる多様な媒体を横断的に活用し、訓練内容や参加方法の周知を行い、幅広世代に参加してもらえるように努めてまいりたいと考えております。

また、今年度より町保育士についても、防災士の資格取得を計画しております。防災士としての知識を活かした、子育て世代への防災情報の発信を行うことで、若者世代への情報発信を行ってまいりたいとそうように考えております。

次に、防災訓練への参加のハードルを低くすることで参加率の向上に努めてまいります。訓練の内容を「見学型」と「体験型」を組み合わせることで、自治会未加入者など、訓練へ参加しにくいと感じる方についても、参加してもらえる仕組みにしていきたいと思いますと考えております。訓練当日、ご参加いただけなかった方々へのフォローとして、ご要望のあった自治会や自主防災組織などへ防災アドバイザーを派遣し、講話や訓練を支援しており、これは今後も引き続き行っていく考えであります。

また、これまでも実施しております、ミニ防災フェスや防災デイキャンプのイベント、さらには、学校の家庭教育学級での防災学習などを実施し、子どもも含めた、自治会や自主防災組織への未加入者・若年層への啓発にも取り組んでまいります。

3点目の「新しい防災体制の考えはあるのか。」についてであります。本町では綾川町地域防災計画において、災害時の対応を定めておりますので、現在の新しい防災体制の考えはありませんが、防災士の資格取得により、各職員のマネジメント能力が上がり、迅速かつ円滑な対応が可能になってくると考えております。

4点目の「専門の対策課の立ち上げ」についてであります。これまで述べてきたとおり、予防対策、災害応急対応、復旧・復興防災対策の各フェーズごとの対策を各課職員が考え、行動できることにより、それぞれが専門対策課対策係の仕事ができるようになると考えております。現在専門の対策課の立ち上げについては考えておりません。

5点目の「議会との連携」についてであります。防災士の資格を取得されている議員の皆様にも、町民の防災の意識と知識の向上のために、町が実施する防災訓練、防災フェスティバルや自主防災組織の活動の活性化に向けた取組等にご協力をいただくなど、連携して取り組んでまいりたいとそうように考えております。

また、災害時には、各避難所の運営に入っただき、町との災害時の情報共有をしていただくなど、議会と連携を図ってまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（河野）再質問はございませんか。

○8番（十河）議長。

○議長（河野）十河君。

○8番（十河）ご丁寧な答弁ありがとうございました。

1点、一般質問の中で問えばよかったことではございますが、改めて教育委員会、教育長並びに担当課長でも答弁大丈夫だと思いますが、学校の学童、また生徒に対しての今の防災教育、どのような格好で防災教育をしているのか。また、避難訓練等々をどのぐらいの頻度でやっているのかというのを1点だけ教えていただければありがたいと思います。

○教育長（香川）はい、議長。

○議長（河野）香川教育長。

○教育長（香川）はい、議長。

○教育長（香川）十河議員の再質問について答弁をいたします。

小中学校における、避難訓練等の実施回数についてでございますけれども、原則、年1回は必ず実施をしております。9月1日の関東大震災を踏まえて、しっかりとした訓練をしておるものと認識をしております。

また、学校によって違いはありますけれども、不審者対応の避難訓練も実施をしているところでございます。

教職員の研修ということについてですが、昨年度、町を挙げて、避難訓練に関する研修会を実施したように記憶をしております。また今回、町で防災士の講習会を実施しましたが、自主的に参加をした教職員が1名ございます。子どもたちに、安全・安心な生活をする知識や能力を高めるためにも、防災教育についてはまた、学校の特別活動等々の授業の中で、各学校とも計画的に実施しているものと認識をしております。

以上、十河議員の再質問に対する答弁とさせていただきます。

○議長（河野）再々質問はございませんか。

○8番（十河）ありません。よくわかりました。ありがとうございました。以上です。

○議長（河野）はい。以上で、十河君の一般質問を終わります。